

# 那加三地区だより

やさしい心とおもいやり あなたがひろげる福祉の輪

平成29年9月15日 No.63

編集・発行



那加三地区  
社会福祉協議会

## 「向こう三軒両隣の輪」をめざして!!

—— 近隣ケアグループ研修会を実施 ——



社協会費が  
使われています

### 1.代表者懇談会 (5/10) 出席者34名

近隣ケア活動をよりよいものにするために、那加三地区27のグループ代表者が一堂に会して、以下のような情報交流を行いました。

- ①グループ員や代表の選出方法
- ②選出にかかわる問題点
- ③代表やグループ員の引き継ぎの状況
- ④自治会との連携の状況
- ⑤近隣ケア活動の内容や方法、課題等



### 2.第一回研修会 (6/13) 出席者98名

近隣ケアグループ員、自治会長、民生・児童委員が参加して開催しました。

まず市社協、総務福祉課の横山師之主事から、社会福祉協議会と近隣ケアグループの役割について具体事例をあげながら教えていただきました。「見守り・声かけ・知らせる・つなげる」が近隣ケアの役割です。年々確実に高まっている高齢化の中で、近隣ケアグループの活動は、地域にとって益々大切な存在になってきていることを実感しました。



#### 高齢化率・4年間の変化 ※H29.4.1現在

	H.29	H.28	H.27	H.26
那加三地区	26.8%	26.4%	26.1%	25.3%
各務原市	26.9%	26.5%	25.7%	24.8%

次に地域包括支援センターの坂口将矢主事から以下のような呼びかけがありました。

**地域包括支援センターは、高齢者や家族を  
いろいろな面から支援する機関です。**

高齢者や家族の皆さんが住みなれた地域で安心して暮らしていただけるよう、相談内容に応じて、市役所、民生委員児童委員、医療機関、社会福祉協議会、介護事業所、保健所等と連携して支援します。

〒504-0912 那加桜町2丁目163番地 総合福祉会館2階 ☎058-383-7624  
FAX 058-382-3233 E-mail:k-houkatu@kakamigahara-shakyo.jp

### 近隣ケアグループ研修会アンケートより

アンケートへのご協力ありがとうございました。一部抜粋させていただきます。

■研修会出席者数 98名 ■アンケート回収数 71名 ■回収率 73%

#### 1 研修の内容について

経験年数	1年目	2年目	3・4年	5・6年	7年~	計	構成比(%)
よくわかった	6	18	4	3	4	34	48
ほぼわかった	22	15	0	0	0	37	52
わかりにくかった	0	0	0	0	0	0	0
計	28	33	4	3	4	71	100

#### 2 研修に参加して感じたこと

- 活動のアウトラインを知るにはよい機会であった。
- 市社協の横山さん、包括の坂口さんのお話が聞けてよかった。
- 高齢者社会が進む中では大切な活動であると思った。
- 地域のつながりの大切さを痛感した。シニアクラブとの連携を大事にしていきたい。
- 行政側の福祉サービスだけでなく、より細かい活動がなされていることを初めて知った。
- 地域包括支援センターの利用方法がよく分かった。
- 少し重い感じがしていたが、つなげるという役割だとすると少し軽く思えた。
- △資料は多いが中身まで理解することは大変だ。
- △具体的な事例について聞きたかった。
- △具体的に各グループで企画したりする時間があるとよい。

# ・・・校区の皆さまへ・・・ わが校の福祉教育

## 地域の中で価値ある学校を目指して

那加中学校 校長 村井 俊之



おかげさまをもちまして、本校は本年度に学校創立70周年を迎えます。太平洋戦争後、新教育制度で新制中学校がスタートした時、本校も産声を上げました。様々な歴史を積み重ね、地域の皆様のご援助とご支援をいただきながら総勢約30,000名の卒業生を輩出してまいりました。卒業生は多方面で活躍し、全国的に大活躍している方々も少なくありません。

このような、歴史の重みを感じるとき、地域の皆様のお助けがどれほど素晴らしい支えになっているかを実感します。昭和24年の本校の記録に次のようなものがあります。「那加地区有志よりご寄付 米3俵。」これは、戦後、日本中が食糧難で苦しい中、那加中学校の生徒に食べてもらいたいと地域の皆様が寄付をされたのです。何と素晴らしいことでしょう。地域の皆様が那加中をそこまで大切にいただいたことに感謝の念でいっぱいです。

現在的那加中学校が、さらなる発展をし、そのご恩に報いるために、在校生が那加中学校の名を汚すことなく、地域の皆様から無くてはならない学校としてがんばれるよう日夜生徒と共に全職員で全力で邁進する覚悟でございます。今後ともご支援いただきますようお願いいたします。



## ボランティア手帳

那加第三小学校 校長 大橋 久也



本校では、高学年になれば関係機関から講師を招き「高齢者・車椅子・アイマスク」等の体験活動を取り入れた福祉教育を実施しています。今年度は福祉施設を訪問し、そこで暮らす人、働く人から学ぶ機会を設ける予定です。

こうした特設の福祉教育と共に、子どもたちは日々その土台を自分たちで築いていると思います。それは「ボランティア手帳」の全市を挙げての取組です。「今日はお風呂掃除をしました」「玄関の靴を揃えました」どちらも家庭内のお手伝いですが、人にとっての最も基本的な社会の単位が「家族」ですから、家族のために働く、責任を果たすことはまさしくボランティアと言えると思います。

福祉活動は突き詰めて言えば、「相手を思いやる心」からスタートするはずで、「疲れてかえってきたお父さんやお母さんが気持ちよくお風呂に入ることができるように…」と願って風呂桶を磨く経験の積み重ねから、学校でのスリッパを揃える動きや落ち葉拾いを進んで手伝う心につながると信じます。

「ボランティア」の回数が増えていくことを楽しみにする「ボランティア手帳」の取組を大いに活用して福祉の心を育てていきたいと考えています。その福祉の心はまだ弱々しいものかも知れませんが、今後大きく育つことを期待して今、種をまきたいと考えます。

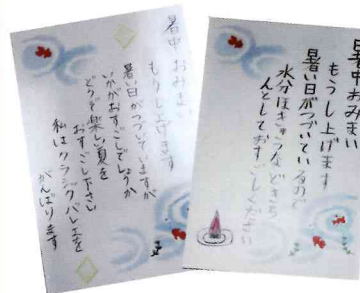
## ボランティアハウス懇談会 (5/16 出席者24名)

那加三地区では8つのボランティアハウスが運営されており、それぞれの運営者による懇談会が実施されました。活動内容の工夫、運営ボランティアの確保、活動費不足への対応などの意見交流がなされました。また、お互いのハウス活動を見学し参考にしようという提案がなされました。



## 暑中見舞いはがき ~心を込めて書きました~

今年も130名のお年寄りに260枚の「暑中見舞いはがき」が届けられました。那加第三小学校5・6年生の皆さん、やさしい心をありがとう。

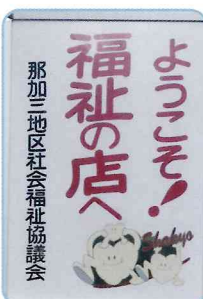


## 第22回夏祭り盆踊り大会 (8/5)



エンジェルハウス	9,700円
あしたの会 共働学校	35,000円
虹の家・友愛の家	12,200円
星の村	10,750円
合計	67,650円

那加第三自治会連合会主催の夏祭り盆踊り大会に、那加三地区社協も「福祉の店」を出店しました。



校区の皆さまの温かいご協力ありがとうございました。売上金は左記の授産施設へお届けしました。

